

情報公開文書

新たな研究へのご協力をお願い

「ベネフィットリスク情報伝達内容の違いによるリスク認知変化の測定」の オンラインアンケート調査へご参加されたみなさまへ

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所で実施されていた研究課題「ベネフィットリスク情報伝達内容の違いによるリスク認知変化の測定」でご提供頂きました情報を、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所において下記の目的のため使用させていただきます。

ご質問・ご相談等がございます場合、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

1. 研究課題名
食のベネフィットリスクコミュニケーションにおける一般者のリスク受容推計モデルの構築

2. 研究責任者
種村 菜奈枝：医薬基盤・健康・栄養研究所 食品保健機能研究部・室長

3. 研究の目的・方法

【研究の目的】

本研究では、食に関する有効性/安全性に関する情報を発信するにあたり、一般者のみなさまにおけるリスクに対する受け止めの程度を予測するためのモデルを開発することを目的としています。

【研究の方法】

本研究は、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所で、2022年6月24日～6月25日に行われた「ベネフィットリスク情報伝達内容の違いによるリスク認知変化の測定（研究責任者：国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 種村 菜奈枝）」オンラインアンケート調査（健康栄183m）における研究データを二次利用するものであり、この研究のために、新たなデータは収集しません。

この研究データの写しを、研究責任者へ提供後、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所において、リスク受容度を推計するための予測モデルの開発を行う研究です。

この研究は、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 研究倫理審査委員会の承認を受け、研究機関の長の許可を受けて実施するものです。

オンラインアンケート調査の研究データは匿名化されており、保管されています。ただし、国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所内には、調査への参加者とデータを結びつけた対応表は存在しないため、この研究へ参加したくないとお申し出いただいたとしても研究データを削除することはできません。

4. 研究期間

（変更前）

機関長の実施許可日 ～ 2024年3月31日まで

（変更後）

機関長の実施許可日 ～ 2025年3月31日まで（1年間の延長）

変更理由：現在、論文投稿のための準備中であるため、研究期間の延長をお願いするものです。

5. 個人情報の取り扱い

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所では個人が特定できる情報の取り扱いはございません。

【問い合わせ先】

研究責任者：医薬基盤・健康・栄養研究所 種村 菜奈枝

〒566-0002 大阪府摂津市千里丘新町3-17 健都イノベーションパークNKビル

電話：06-6384-1120（代表）

(※) リスクに対する受け止めの程度を予測するためのモデルとは

この研究で指す「予測モデル」とは、一般者のリスクに対する受け止めの程度に対して大きな影響を与える要素（例えば、年齢といった対象者の背景など）を見える化するためのプログラムのことです。

このモデルにより、情報発信の留意点を事前に洗い出しすることに活用されることが期待されます。